

第3回 南砺市行政改革懇談会 会議メモ

平成 17 年 10 月 4 日(火)

午後 2:00~4:25

福野庁舎 講堂

出席者

懇談会委員

川合友之、齊藤昭一、藤井 貢、清水壽一、北田正雄、寺井孝夫、中藪淳一
長尾治明、石黒厚子、奥村晃治、麻生 博、岩田繁子、野村玲子、野原一司

行政改革推進本部委員

清都助役、山本収入役、梧桐教育長、向川市長公室長、上坂企画総務部長、大和民生部長
堀産業経済部長、畑建設部長、平本議会事務局長

事務局

三谷総務部次長、青島行政管理室長、石崎主幹、小森主査、森主事 以上 28 名出席

欠席者

懇談会委員 塚田久俊、石崎直樹

2 名欠席

【開会宣言】

【助役あいさつ】

行政改革の職員提案が約 420 件余りの提出があり今取りまとめ中である。行政改革は委員の皆さんのバックアップをいただきながら今後も進めて行きたい。

(南砺広域連合の解散については、今までの経緯と理由等を説明し、その後、市が南砺中央病院を引き継ぐことも説明。)

【長尾会長あいさつ】

第 2 回で議論あった「総合計画と大綱との関係」については、今、両方同時に進んでいるが、先に大綱を進めるべきでないかと考えている。2 月頃に第 5 回の懇談会を予定しているので、中間報告できないか。もう一つの議論は、「余りにも総合的で課題が散漫になりすぎているのでは」については、市全体の行革を決め大枠の鳥瞰図を描いた後に、総合計画や各種実施計画等に反映してもらいたい。まずは「行政改革大綱」を集約したい。

今日は、前回の残り的大綱素案分の「2 将来を見据えた健全な財政基礎の整備」と「3 市民とともに取り組む市政」を議論してもらいたい。これで大綱素案の全体像が見えたわけで、残りの第 4・5 回の懇談会でも全体的に議論できなかつたところを行いたい。

【報告事項に入る】

事務局説明

第 2 回南砺市行政改革懇談会 会議メモを市のホームページに掲載していることのお知らせをもらう。

第 2 回懇談会の意見を踏まえた行政改革大綱の修正点について

【協議事項に入る】

事務局説明

・大綱(素案)について

行政改革主要項目

2 将来を見据えた健全な財政基礎の整備

3 市民とともに取り組む市政

・添付資料

について説明

【意見交換に入る】

- 会長 大変厳しい財政状況が解りました。それでは本日の項目の「2 将来を見据えた健全な財政基礎の整備」と「3 市民とともに取り組む市政」について議論をしていただきたい。どの分野からでもよいので意見をいただきたい。
- 委員 P6の「景気が緩やかに～その先行きも不透明な状況にあります。」は来年4月でもこの様な状況なのか。景況感の表現について見直しするのか。
- 会長 経済環境を見据えて最終的には調整します。
- 委員 P6の「歳出経済費全般における徹底的な見直しと公有財産の整理合理化の「エ 省エネルギーとリサイクル」でリサイクルでは限定されるので幅広く考えられないか。
- 会長 私も視野を広げて限定しないほうが良いのではと考える。「循環型社会の構築」との表現でいかがか。
- 委員 全体的に検討課題で「・・・の見直し」という表現が多い。もう少し踏込んだ具体的な書き方にならないか。
- P6の「公共事業の見直しと公共工事のコスト削減」の検討課題で具体的な項目がない。どのようなことをするのか、思い切って止めるものもあってもよい。具体的に示せないか。
- P10 市民の自主的・主体的地域活動の支援で「イ 自主的活動を目指す市民組織の設立支援(地縁団体・NPO 法人・ボランティア団体)」で各団体等に支援することも大事なことだが、もう一步踏込んで、今まで行政が行ってきたもので、指定管理者とは別に民間に任せても良いものがある。NPO等の団体に取り組んでもらう機会を与えることが、市民参画の意欲を高める。市民の違った視点で市政への市民協働が図られないか工夫が必要。
- 会長 公共事業の見直しについては、市民の声を聞いて思い切った廃止も含めて、もっと掘下げた視点で明示できないかとのご意見です。また、市民組織の支援についても、NPO 団体や民間企業等に任せ、もっと市民を巻き込んだ参画的な工夫ができないかとのご意見です。
- 委員 P6の「歳出経済費全般における徹底的な見直しと公有財産の整理合理化の「ア 投資的な事業の抑制」とあるが抑制するだけではなく、別の視点で推進できるものは推進すべきで産業の振興発展を図り、税収として回収する発想を取り入れ、「抑制」を「推進」にできないのか。
- 事務局 投資して後に回収する発想は、企業会計ならできるが普通会計では難しい。
- 委員 行政側で一方的に改革する表現が多く見られる。歳入歳出の改革に関しては、市民も応分な負担が必要なので、この部分も大綱に表現すべきでは。
- 委員 この懇談会は、市民も関心あるので情報公開やインターネット等で知らせて欲しい。P7の「(2) 定員管理と人件費の適正化」は特に関心がある。大綱をどう実施するのか PDCA サイクルを踏まえ10年でなく、5年とか3年とか短く、達成する努力が必要。
- 先日、国民健康保険の改正があり保険証が交付された。封書で郵送されたが郵便代もばかにならないのでは。
- 委員 行政は、民間でできないものを行ってきた。当然、効率的にはむかないものもあるが、効率性を求め無駄を省く必要があり、これが行政改革である。道路をつくる過程の中にも無駄があった

のでは。よって「公共事業の見直し」といっているのであろう。しかし、本当に公共事業をなくしても良いのか。それはできないのでは。もっと記載内容をつめる必要があるのではないか。

また、P6「ウ 庁用車の台数・配置の見直し」で減らすようなイメージがあるが、実際は消防車、バス、除雪車等は減らせないのでは。もう少し踏込んだ話をすれば、都市間交通を考えた時、南砺市の公共交通機関のバスが少ない。全体的にはもっと増やすものもあるのではないか。

また、P6「オ 遊休市有財産の有効活用と処分の促進」で市有地の利用と売却に4庁舎や各行政センターの土地建物も加えて欲しい。

また、新市建設計画の歳入では地方税が増えているがこの意味は。

また、「事務事業の見直し」や「行政コスト」とあるがどこまで言うのか解らない。

事務局 事務事業の意味については、仕事上の事務改善やハード・ソフトの事業もあり、事務所内の組織的なものも含まれる。無駄がないか幅広く検討するという意味もあります。よって、いろいろな箇所でも重複して行きます。

会長 新市建設計画の歳入・歳出の見通しの人件費、物件費、維持補修費等は、それぞれの事業に係らず含まれており一括して掲載されている。民間では人件費等はプロジェクトや事業単位で管理しているが行政は総括的な見方になり異なる。もう一点の新市建設計画の歳入では地方税が増えているがこの意味は。

事務局 まずは税の徴収率を上げ、できれば100%が理想である。税込総額を上げるについては景気動向にもよるが地域の振興発展、企業の進出等がなければできないと考えられる。新市建設計画の地方税が増えていることについては、次回に回答します。

委員 P6「 税収納向上の徹底と受益者負担をともなう公共料金の適正化等、自主財源の確保」の検討課題ア、イ、ウ、エは歳入の見直しであるが、エは公共料金を値上げする意味なのか。

事務局 公営企業会計等では独立採算制が求められ、受益者負担の原則がある。すぐ値上げというよりも組織のスリム化を図り自助努力しながら改善しなければならない。

委員 歳入の見直しで、たとえば、食品企業が南砺市で食文化を広めたいとすれば一企業ではできない。しかし、企業が提案したものを行政がバックアップすれば、関連業界の経営も伸び南砺市の税収等の歳入も増え、共に発展するのでは。もう一步踏込んだ大綱にならないか。

事務局 本当に必要なものは総合計画の産業振興の支援等で明示したい。無駄なことをさせないのが行政改革大綱ある。それぞれ役割分担があり若干違うのではないか。大綱では示さないほうが良いと考えている。

委員 市民が積極的に参画することは非常に大事なことである。P10「 市民の自主的・主体的地域活動の支援」で地域活動だけでいいのか。その他として「交流活動」も必要なのではないか。

また、市民や民間団体のノウハウが育っていないのに支援だけでいいのか。行政からは支援だけでなく、指導や育成等がまだまだ必要であり、行政が育てることが重要である。

たとえば、海外派遣や国内外交流では、行政が主導で行ってきたが、これからは民間の交流協会等に任せるためには、もっと行政からの育成や調整の機能も必要でないか。

会長 検討します。

委員 P7「 補助金・交付金等の整理合理化と交付制度の見直し」で検討課題のア、イ、ウに合併協議会で決めた3項目(8町村で同一又は同種の補助金等については、関係団体の理解と協力得て、統一の方向で調整する 各町村独自の補助金等については、従来の実績や地域の実情等を考慮し、新市域全体の均衡を保つよう調整する 整理統合できる補助金等については、統合又

は廃止の方向で調整する)の確認事項を掲載して具体的なイメージが欲しい。

P7「(2)定員管理と人件費の適正化」の方針で「10年で200人削減を図る」とあるが10年で200人削減がゴールではない。200人以上の削減の表現が良いのでは。

P8で職員のレベルアップについては、個人の底上げが中心に掲載されているが、PDCAサイクルの手法を取り入れながら組織的に全体を底上げする方法が良いのでは。

会長 検討します。

委員 企業誘致等ができればすばらしい。小さなことでなく大きなことを考えられないか。市の広報やインターネットで懇談会の内容を知らせて欲しい。

委員 新市建設計画の歳入歳出を見ると繰入金が多すぎて明るさに欠けている。市施設を民間委託等で行革が進めば、どれだけの財源的に効果が出るのかも一緒に検討すべきでないか。

市所有の3病院の運営を行うのは厳しい。県ではスキー場を廃止した例もあるが、南砺市では5つのスキー場があり単に削減するのではなく、青少年の育成のためにも必要である。将来の夢のある総合計画と大綱はリンクすべきである。

委員 大綱の素案はすばらしい。しかし、これを進めるにはどのような気持ちで市民と行政が携わって行くのが大事である。今まで地域と行政はお互い心のふれあいが少なかったように思われる。すべてお金ばかりでおもしろくない。もっと心のつながりや豊かさ、楽しさで接しながら行政改革を行う必要があるのでは。

委員 この大綱は、大勢の市民と職員がこれから進める基本方針を定めるもので、皆さんと十分検討したい。一番大事なものは、「事業は人も」で職員の資質が非常に大事である。行政の想いと民間の想いが相当違うので、市職員は民間に飛び込み研修する必要があるのでは。

P6「公共事業の見直しと公共工事のコスト削減」で公共工事はワンパターン化が多い。工事資材は大量生産されたものを多く使用し、地域に即した工事資材は使用されていない。もっと地域資源を活用した工法等を採用して欲しい。

検討課題「ウ 一般競争入札制度の検討」はスーパーゼネコンが入ると地元企業にお金が落ちない。地元業者の指導育成もあっていいのでは。「一般競争入札」でなく「一般指名競争入札」であって欲しい。また、NPO法人にも積極的に市職員も参画して欲しい。

委員 P7「補助金・交付金等の整理合理化と交付制度の見直し」で合併協議会で決めた3項目の確認事項を守って公平な補助金の交付を行って欲しい。3項目を守るように末端の職員まで徹底して欲しい。

また、P6「ア 税収納率の向上対策」で100%が理想とも言われたが、税の収納率の実態も聞かせて欲しい。

先月末で8地域の市政懇談会が終わり、私達の団体でも参加したが寂しい意見ばかりだった。早く夢を与える総合計画等が出来上がって市民に知らせて欲しい。

会長 収納率の実態については次回説明します。

委員 P10「市民協働による事業展開」で、市全体が一体化し協働参画を図って、わくわくどきどきできる事業展開が欲しい。たとえば観光系イベントや防災訓練などのイメージか。

また、検討課題「イ コミュニティビジネスの育成」の意味は、コミュニティを使う背景が市全体か旧町村単位か旧町村の一部を指しているのか次回まで教えて欲しい。

また、となみ青年会議所に市職員も入会して欲しい。

副会長 この大綱素案には玉虫色の記載が多く本当に行政改革が出来るのか。行革は数字を上げてキチ

ンと表現したほうが良い。

P6の「歳出経費全般における徹底的な見直しと公有財産の整理合理化」で「見直し」でなく「削減」とすべきではないか。

職員を200人削減するならば、庁用車も100台位削減して良いのでは。

また、「公共料金の適正化」については「公共料金の改正」なら解るが、もっと表現をハッキリと記載すべきでないか。

また、「公共事業の見直しと公共工事のコスト削減公共事業の見直し」で国や県の権限の関係から本当に市行政が見直しできるのか。

また、「ウ 一般競争入札制度の検討」とあるが「導入」とすべきではないか。

また、P9「ア 審議会・委員会委員の一般公募」とあるが、公募というよりも、いろいろな階層、部門別の方で広く議論し、意見集約すべきでないか。

行政改革は、市民の理解を得て情報公開し、オープンな形で進めていただきたい。

委員 先ほどの入札については「予定価格を公表することを前提に」を付け加えたい

委員 合併後一年たち、慣れてきた頃である。マンパワー的には一番余裕がある頃だと思う。事務関係の遅れを整備し環境を整えるべきでないか。

会長 予定価格については公表されているとのことです。

助役 国の三位一体の改革は「交付税の見直し」「補助金の見直し」「財源の移譲」の三つだった。この改革効果は地方自治体にとってプラスの効果かマイナスの効果か見守ってきたが、全部マイナスの効果だったように思える。総合計画については限られた財源で皆さんの期待に応えながら作成したい。しかし、旧町村で抱えていた地域づくりの課題もあり、勉強しながらそれぞれの計画に反映して行きたい。17年度については人件費や普通建設費等を抑制しながら、また、補助金についても一律一割カットで市民の皆さんに協力してもらっている。行政の効率化を図りながら、早く新市の一体感をつくり、地域を明るく元気に行きたい。

事務局 懇談会の内容は、市のホームページに第1回と第2回を南砺市行政改革懇談会 会議メモとして掲載されている。また、市の広報についてはその都度掲載せず、まとめて掲載したい。

次回は11月22日開催を確認。

【閉会宣言】